琉球・沖縄 年中行事 ?なんでも! Q&A

お墓編

●Answer
帰依 龍照（きえ りゅうしょう）
沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q 夫の両親のお墓の件でご相談させてください。夫は5人兄妹の次男、長男は東京在住で兄夫婦には男の子はおらず、3人の娘がいます。私たちは県内在住で娘2人、息子1人がいます。お墓は県内にあり、現在は私たち夫婦と、娘、息子の家族で行事ごとのお墓参りをしています。私たち夫婦の亡き後のことを考えると、とても不安になります。

先輩方のお話では、長男はのちのち両親と一緒のお墓に入られるべきとのこと。夫も、「自分は次男ゆえ、両親とは別の墓にしてくれ」と申します。となると、両親と私たちのお墓2基となり、私たち夫婦亡きあと、お墓の世話をしてくれる息子夫婦に対して申し訳なく、私たち夫婦が元気である現在、正しい行いをいたさなくてはと思い重ね、ペンを取った次第です。どうあるべきか、正しい道理を教えてください。よろしくお願いします。（Kさん）

A 【嫡子（ちゃくし）＝長男）優先主義】

Kさん、ご相談、お任せください。私の専門分野ですので。お子さんたちにお墓のことで迷惑をかけられないと先々を案じてのこと、親心、本当に痛み入ります。先輩方のアドバイスやご主人のお考えも、沖縄の慣習の理にかなっていて、Kさんは、とても素晴らしいご縁に囲まれていると思います。

ご存知のように沖縄の祖先崇拝では、家長制度に似た「嫡子優先主義」が現在も存在します。これは、男性（ご主人）方の血筋（ちすじ＝シジ）を守ることを大切にした考え方です。そのため、仮に長男が独身であったり、戦争や病気で亡くなっていたり、あるいは「幼少（ユースー）」といって数え年7歳未満で亡くなっていたとしても、長男をないがしろにしないよう、長男が生きているイメージで、次男や長女以降の兄弟・姉妹が代理となって、長男が行うべく親の尊御前（トートーメー）の行事を行うという慣習があるのです（長男をないがしろにすることを「嫡子押込（チャッチウシクミ）」といいます）。

先輩方やご主人は、この沖縄の慣習にそって、「長男はのちのち両親と一緒のお墓に入られるべき」「自分は次男ゆえ、両親とは別の墓にしてくれ」とおっしゃっているのだと思います。

【御庭（ウナー）（墓外（ぼがい）の二墓（ターチバカ）】

しかし、ここで問題となるのは、将来、ご両親と次男であるご主人のお墓が2基になるという点です。そのことで、お子さんたちに迷惑がかからないかということが、ご質問の一番のポイントではないかと思います。

Kさんは、将来、ご両親とご主人のお墓が別々の敷地に2基存在するというイメージをお持ちではないでしょうか？　その方法は、「家庭墓（チネーバカ）」という一般的なお墓の様式です。確かに、この様式ですと、供養・管理する方は2個所に出向くことになるので、大変かもしれませんね。

そんな場合、沖縄には「御庭（墓外）の二墓」という方法があります。ここでいう「御庭」は敷地を意味し、敷地内に2基の墓を建立する方法です。墓の入り口となる門（墓門〈ハルジョー〉）は、同じ敷地と考える場合は1門、2基の墓と考える場合は2門造ります。

「御庭（墓外）の二墓」は、同一の敷地で2基のお墓の供養・管理ができる合理的な考えに基づいたものでもあり、沖縄の祖先崇拝の英知が収まった素晴らしい慣習です。親子、兄弟、姉妹で敷地を共有し、お墓を建立することが一般的です。

【墓内（ぼない）の二墓（ターチバカ）】

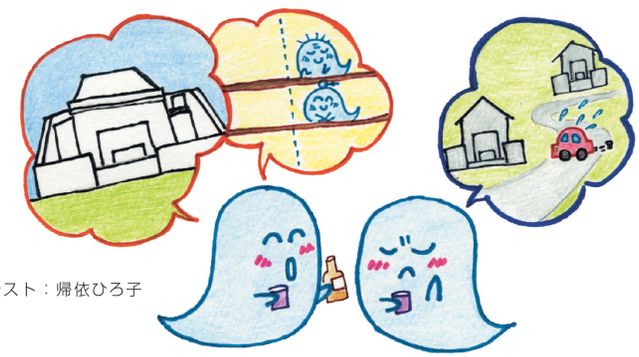
さて、結論です。Kさんの場合、すでにご両親のお墓が建立されているので、「墓内の二墓」という方法が最善でしょう。

これは、お墓の内部を中心で区切り、左右それぞれに遺骨を納める方法です。正面向かい右側「後生の左（グソーヌヒジャイ）」は上座に当たるので、将来、こちらにご両親とご長男のご遺骨を案内（ウンチケー）します。そして、下座である正面向かい左側「後生の右（グソーヌニシディ）」に、次男であるご主人のご遺骨を将来、案内します。

この方法ですと、上座にご両親とご長男を敬うことから、先輩方やご主人の考え方を尊重しつつ、次男であるご主人も同じお墓で敬えるので、お子さんたちに迷惑をかけない現実的な解決策になろうかと思います。

「お墓の2世帯住宅」と考えられても、差し支えありません。「墓内の二墓」は、沖縄の慣習に詳しい方々なら、皆さんご承知の事例ですので、広くご理解いただける解決策ではないかと思います。

＊　＊　＊



イラスト：帰依ひろ子

帰依　龍照　1968年岡山県出身（46歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得／職歴：寺院一筋／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県内で年間約100件以上の地鎮祭（起工式）を担当する／著書：『琉球・沖縄儀式・法要事典　作法・心得編』県内有名書店にて発売中／趣味：野球、国産グッピー飼育（現在グッピーの赤ちゃんが50匹とワンサカです）

【質問をお寄せください】　年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は26面をご覧ください。